



景観・環境の保全と創造

愛着と誇りの持てる「きれいな奈良県」の実現

主担当部局：景観・環境局



笠荒神付近の一面のそば畑(桜井市)

目指す姿

奈良ならではの“美しい自然・景観”や“快適な生活環境”を守り・創り・育む「きれいに暮らす奈良県スタイル」を構築・定着させ、「住んでよし」「訪れてよし」の地域づくりを目指します。

目標

美しく風格のあるまちなみや
多様で豊かな自然を

守り・創り・
育て
ます。

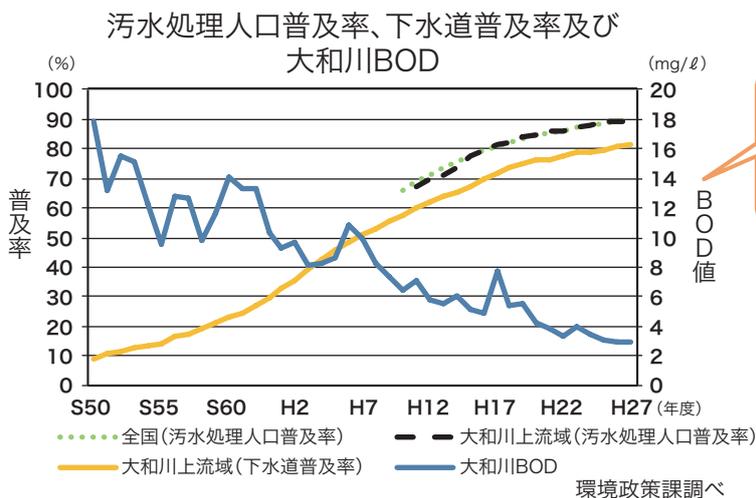
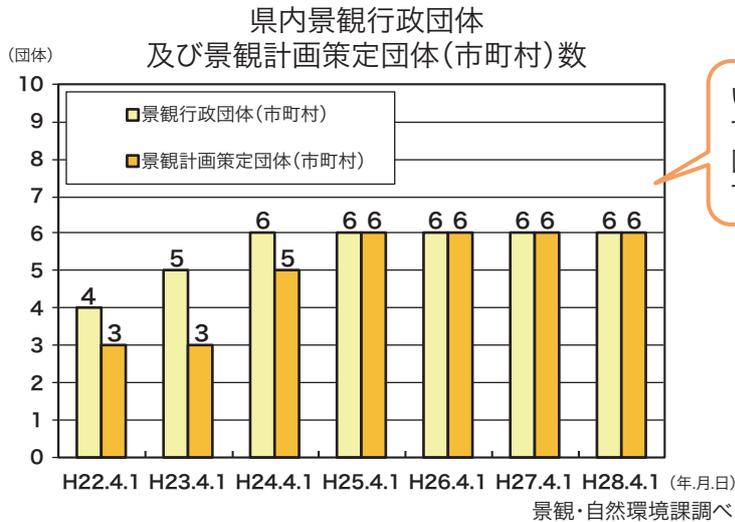
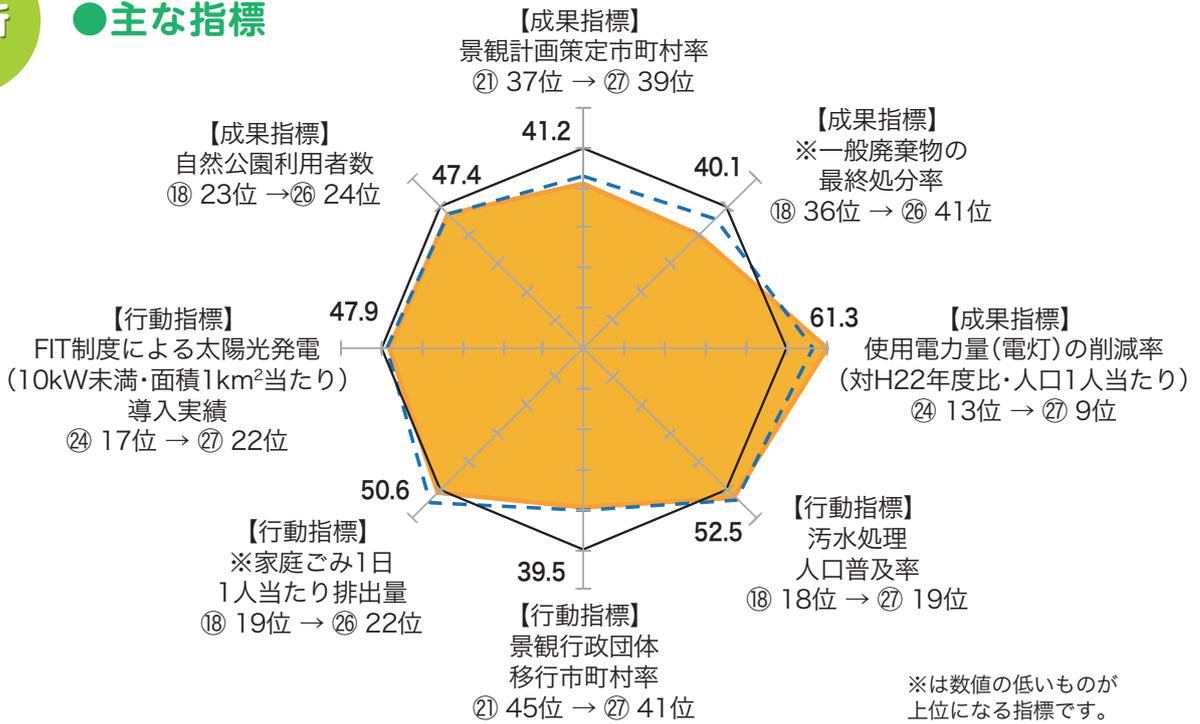
誰もが安心して暮らせる、住
みやすいきれいな生活環境を

創造

します。

分析

● 主な指標



戦略 1

植栽の整備等により奈良らしい景観づくりを進めるとともに、希少野生動植物の保護等により生物の多様性を守ります。

主担当課：景観・環境局 景観・自然環境課

戦略目標

- ▶ 平成32年度までに、奈良県植栽計画に位置付けた**54エリア**すべての**整備**に着手します。(平成28年度着手済みエリア:45エリア)
- ▶ 平成32年度までに、県民の「**生物多様性**」の認知度を**80%**にします。(平成27年度:38%)

取組

主要プロジェクト
21

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
[きれいに暮らす奈良県スタイル]構築・推進プロジェクト(奈良らしい景観づくり推進)				
「なら四季彩の庭」づくり ・彩り植栽		植栽の整備・維持管理		
・植栽計画の拡充		エリアの追加・拡大、イメージ図等の作成		
・植栽計画の広報・普及		シンボルマークプレートの設置		
		植栽情報誌の発行		
		植栽ホームページの運用		
・市町村・地元団体等の支援		植栽整備に係る補助制度の運用		
		協働管理に係る支援制度の運用		
		エリア協議会等の設立支援		
都市・沿道景観の形成				
・広域幹線沿道における屋外広告物の規制等による取組		違反対策に係る市町村の支援		
・広域幹線沿道における屋外広告物のガイドライン等による誘導		ガイドラインによる啓発・誘導		
		修景に係る補助制度の運用		
・奈良の玄関口となる駅周辺における屋外広告物景観の向上		協議会で検討		屋外広告物の撤去・改修の誘導
・無電柱化の推進				
奈良公園周辺		工事実施		
飛鳥周辺		工事実施		

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
景観法に基づく建築物外観等への規制誘導				
制度運用		運用		
		景観計画の検証・見直し		
景観資産の登録と活用				
登録	募集・審査・登録			
普及・活用		標柱設置・パネル展示・講演会開催等		
景観サポーターとの協働				
景観サポーターの育成・活用		植栽計画関連事業等へのマッチング等		
「なら生物多様性保全ネットワーク」の強化・充実				
ネットワークの強化・充実		連携・協働の実施		
		生物多様性普及啓発		
希少野生動植物の保護				
特定希少野生動植物の保護		保護計画策定・保護管理の実施		
自然公園の利用促進				
自然公園の整備と利用促進		施設整備等の実施		



大門ダム(三郷町)



キレンゲショウマ(絶滅寸前種)

戦略 2

生活排水対策をはじめ、3Rや省エネ・節電等の取組を促進し、環境負荷を低減します。

主担当課：景観・環境局 環境政策課

戦略目標

- ▶ 生活排水対策を推進し、**大和川の環境基準(BOD値)を達成**します。(平成26年度環境基準達成率:85.7%)
- ▶ 平成29年度までに、廃棄物の排出量削減とリサイクルを推進し、**家庭ごみ排出量を602g/人・日に**します。(平成25年度:634g/人・日)その結果、平成29年度までに、**最終処分率を10.3%**にします。(平成25年度:12.8%)
- ▶ 平成42年度までに、**温室効果ガス排出量を平成25年度比で30.9%削減**します。(平成25年度:県内温室効果ガス排出量約788万トン)

取組

主要プロジェクト 21	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
「きれいに暮らす奈良県スタイル」構築・推進プロジェクト(「大和川きれい化」推進)	清流復活への取組促進				
	・大和川水質汚濁見える化		ホームページ等での公開		
	・環境用水の確保		検討・実施		
	・合併浄化槽への転換・設置促進、維持管理の充実		設置補助等の実施		
	・下水道の整備促進		整備の実施		
	・大和川清流復活ネットワークの活動		啓発、清掃等の実施		
	きれいな水辺空間づくり				
	・大和川一斉清掃の開催		継続実施		
	・河川愛護活動の促進		活動団体の募集及び活動の見える化の実施		
	・良好な河川空間確保のための重点除草		包括的な維持管理マネジメントの実施		
・奈良県山の日・川の日啓発活動の推進		継続実施			

主要プロジェクト 21	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
「きれいに暮らす奈良県スタイル」構築・推進プロジェクト(「循環型の生活スタイル」推進)	ごみ処理広域化の促進		財政・技術的支援の実施		
	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の促進				
	・ごみ資源循環の利用の促進(奈良モデル・プロジェクトの推進)		市町村広域連携の検討		
	災害廃棄物処理対策の推進		教育・訓練の実施		
	不法投棄対策の強化				
・不法投棄・使用済家電等対策の強化(奈良モデル・プロジェクトの推進)		指導等の実施			
温室効果ガスの排出削減					
多様な再生可能エネルギー等の普及拡大		整備の検討・推進、導入支援等			
奈良の省エネ・節電スタイルの推進		節電スタイルの定着、整備推進、導入支援等			
二酸化炭素吸収源の整備					
適切な森林整備(間伐)の推進		整備等の実施			
県産材の利用促進(公共建築物等)		公共建築物での県産材利用等			



植樹ツアー(大和郡山市野外活動センター)



かっぱ教室(飛鳥川)

これまでの成果

★「なら四季彩の庭」づくりについて、平成27年度までに整備に着手した37エリアに加えて、新たに8エリアで整備に着手しました。

- 特定希少野生動植物の保護を図るため、保護管理事業計画を順次策定しています。
(計画の策定 平成21年度:0→平成28年度:7) <ニッポンバラタナゴ、カスミサンショウウオ、ツクシガヤ、ナゴヤダルマガエル、オオミネイワヘゴ、ヒメイノモトソウ、キレンゲショウマ>

- 大和川の水質環境基準達成率(BOD値)は上昇しています。(平成18年度:約52%→平成27年度:約90%)
- 世帯当たりの電力消費量は減少しています。(平成18年度:5,903Kwh/年→平成26年度:5,229Kwh/年)
- 家庭ごみ1人1日当たりの排出量は減少しています。(平成18年度:739g/人・日→平成26年度:664g/人・日)

主な指標の動き

●よくなっている指標

景観計画策定市町村率

2.6%

(平成21年度 全国37位)



15.4%

(平成27年度 全国39位)

各市町村において意識が醸成されてきた結果、全国順位は高くないものの、景観計画策定市町村率が上昇しました。

※一般廃棄物の最終処分率

14.2%

(平成18年度 全国36位)



12.7%

(平成26年度 全国41位)

全国順位は低下しているものの、家庭ごみ1日1人当たりの排出量が少なくなったこと等から、下降傾向にあります。

使用電力量(電灯(注))の削減率 (対H22年度比・人口1人当たり)

5.9%

(平成24年度 全国13位)



15.1%

(平成27年度 全国9位)

奈良の省エネ・節電スタイルの定着を図り、省エネ・節電対策を推進したことにより、使用電力量の削減が進みました。

(注)電灯:主に家庭や商店、事務所等で使用する電気

●変化が見られない指標、低下している指標

自然公園利用者数

15,670千人

(平成18年度 全国23位)



14,119千人

(平成26年度 全国24位)

平成22年の平城遷都1300年祭の開催で増加したものの、平成23年の紀伊半島大水害の影響等により減少し、その後足踏み状態が続いています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。

春



国の名勝に指定されている月ヶ瀬梅渓とその周辺(奈良市)

夏



十津川(熊野川)の深い渓谷を渡る谷瀬の吊り橋(十津川村)

秋



藤ノ木古墳を眺望できる法隆寺周辺(斑鳩町)

冬



雪の高天彦神社(御所市)